TSUKUBA ●SHIMIN NETWORK ネット

●議員は原則2期・最長3期で交代　●議員報酬は市民の活動費　●選挙はカンパとボランティアで

つくば・市民ネットワーク通信

2026年10月23日　vol.90

発　行：つくば・市民ネットワーク
Tel&Fax:029-859-0264
つくば市二の宮2−1−3クラフトビル1F
tsukubahotnet@ybb.ne.jp
https://tsukuba-net.jp

つくば・市民ネットワークでは今、市民の声を集める「暮らしのアンケート」を実施中です。地域を回っていろんな困りごとを聴いていくと、地域の今が見えてきます。

TX沿線の新しい住宅地では車が増えて交通安全の対策を求める声。数十年経った団地では免許返納したらバスが少なくて暮らせない、空き家が増えて防犯が心配、など沢山の声が届いています。（集計結果は4面）

市民ネットでは数年毎にアンケートを行い、見えた課題について地域の皆さんと共に調査し、解決策を話し合い、行政に提案して来ました。

アンケート以外にも普段から様々な相談が寄せられています。また、最近では市民間の主体的な取り組みや行政への働きかけも活発になってきました。

市民の力はまちを動かすことができます。市民ネットはこれからも、暮らしの中から、市民が主体のまちづくりを進めていきます。

市民の声がまちを動かした!



幼稚園が統廃合？



高齢者のゴミ出し

動物愛護

高校が足りない！

公立幼稚園が統廃合されるらしい。何とか止めたい!

今年2月に、突如示された公立幼稚園再編計画。2028年度から15園を9園に統廃合するという市の計画に対し、市民から「3年保育なら公立に入れたい人はたくさんいる」「拙速な統廃合は止めて！！」と多くの声が噴出。教育委員会には保護者有志から見直しを求める請願が出ました。



これを受け、市長は9月の市議会全員協議会で計画をいったん止めることを表明しました。（詳細は3面に）

高齢になり、毎日のゴミ出しが大変

「高齢になって身体が動かなくなり、ゴミ出しが大変」と言う声は、かねてより暮らしのアンケート等で市民ネットに多く寄せられ、対応策について検討を進めてきました。

また、つくば市が高齢者等のたすけあいの仕組みづくりを行うために設置している『生活支援体制整備推進会議』でも、ごみ出しが課題として議論され、市へ提言が出されました。

この提言をきっかけに、2025年度より、高齢者や障害者の戸別回収を開始しています。



つくば市高齢者等ごみ出し支援事業

市内に通いやすい公立高校が足りない!



子育て世帯が急増し、公立高校不足の声が高まる一方、県は「市内に定員割れの県立高校がある中で新たな高校は作れない。まずは今ある高校の活用を」との方針。そんな時、谷田部地区の方々から、「つくばサイエンス高校に普通科があれば選択肢が広がる」との声が届きました。2023年に開校したつくばサイエンス高校は科学技術科のみで、定員240人のところ、2023年度88人、2024年度77人と大きく定員割れ。

そこで、うののぶこ県議が2024年3月の一般質問で普通科併設を提案したところ、すぐに実現。2025年度入学は普通科102人、科学技術科76人と、入学者が倍増しました。

動物愛護から人間の福祉の課題が見える!

「つくば市は動物愛護への取り組みが遅れている」と、以前より市内の動物愛護団体の方々から声が上がっていました。そこで、市民の有志と市が意見交換する場を設定し、話し合いを重ね、つくば市動物愛護協議会を2026年4月に設立。譲渡会や啓発イベントが市と連携して活発に行えるようになりました。また市に寄せられる相談について、協議会のメンバーで協力して対応する仕組みも出来ました。そこには犬猫の問題だけでなく、飼い主などの地域での孤立や経済的な困窮が背景にあることも見えてきました。犬猫の保護から人への支援にもつなげていこうと取り組んでいるところです。



自校式給食を諦めない

一般質問項目

- 動物愛護に関連する施策について
- 小中学生のデジタル端末との向き合い方について
- 自校式給食について



つくば市議会副議長
総務文教委員会委員
小森谷さやか

7月末、それまで進められてきた自校式給食施設と地元農産物の加工施設を含む「(仮称)茎崎給食レストラン整備事業」が見直しとなることが議会に示された。自校式給食実現を求めてきた市民ネットにとって納得しがたい結果となった。なぜそんな事態になったのか。

発端は物価高・人件費高騰である。基本計画段階で約9億円だった事業費が基本設計で12億円を超えたため、「大規模事業評価委員会」(左下コラム参照)にかけることになったのである。

6つの視点(必要性、妥当性、優先性、有効性、経済性・効率性、地域への対応)からそれぞれ評価がされたが、答申には「委員会として十分な理解に至らなかった」「根拠となる判断材料が不足」という言葉が並んでいる。この**「判断材料の不足」**は一体何なのか?

呼ばれたのは2回だけ

会議録を見ると、まず、この事業に対する大規模事業評価委員会の開催は4回、そのうち担当課が説明できたのは2回のみであった。ちなみに、上郷の(仮称)つくば市陸上競技場の時は8回開催してそのうち7回担当課が説明できる機会があった。

また、「経済性・効率性」の評価で、給食提供後の午後の加工施設で他の給食センターの下処理を行えば、各センターの調理員を削減可能、早朝の勤務時間も2時間程度短縮でき、年間約4000万円の削減が可能、という試算があった。しかし、委員からこれに関する質問がなかったため説明の機会がなく、経済性をアピールできなかった。

さらに、2回目の委員会で、各委員から出た質問に答える資料を提出するよう指示があり、担当課は準備していたにも関わらず、3回目には呼ばれなかった。**「判断材料の不足」**はここに原因があるのではないか。

事業の再検討を

答申を受けて市長が白紙撤回に近い判断を行ったのは適切でないと考える。教育委員会や給食センター運営審議会の委員からは「とても残念」「見直すべきところを見直して再検討して欲しい」との意見が相次いだ。つくば市では今後、吾妻小と谷田部小の建て替えを控えている。その際にもう一度、自校式給食を検討すべきと要望した。



データセンターによる環境影響を抑えるために

生成AIの普及に伴い世界中で建設が進むデータセンター(DC)。つくば市高エネ研南側で進む「(仮称)グッドマンビジネスパークつくばPRJ」の開発に対し、排熱による気温上昇や騒音、火災リスクなど生活環境への影響を懸念する声が上がっている。

市の環境基本条例にある理念に基づき、市民の安全・安心な住環境を守るための行政の取り組みや事業者への対応について一般質問を行った。

一般質問項目

- データセンターが及ぼす環境影響とその低減について
- 防災及び東海第二原発事故への備えについて



つくば市議会議員
都市建設委員会副委員長
川田 青星

事業者との協定

現在市が「日本データセンター協会の指針を参考に、住民との対話や環境配慮が確実に行われる協定を協議中」としている事業者との協定について、以下の具体策を求めた。

- 事業者による公開説明会の実施
- DC稼働前後の環境モニタリング(気温や騒音等の調査)
- 火災対策(貯蔵燃料や蓄電池への防火対策の開示)

など。

特に説明会については対象者を絞った説明会しか開催されていないため、広く市民が参加できる公開説明会の実施を協定に盛り込むよう強く要望した。

研究機関との連携

気温上昇等の環境影響について、事業者任せにせず、市と研究機関が連携して客観的に調査するよう求めた。市は「事業者が自らの責任で行うべき」としつつも、市内の研究機関から専門的助言を得て注視する考えを示した。

市民意見を反映する仕組みづくり

DCに対する行政の対応として日野市の事例を紹介した。日野市では環境の保全等に関して市民から申出があった際、市長が必要性を認めた時には、専門家・市民委員でつくる「環境審議会」へ諮ることを環境基本条例及びその施行規則で定めている。DCについても実際に市民から複数の意見が寄せられたため、環境審議会で審議し、市長へ意見を提出。事業者は、緩衝地帯の設置や地下水利用の制限など計画を修正した。この事例を参考に、つくば市でも同様の制度を設けることを求めた。

DCについては法整備が間に合っておらず、むしろ規制緩和を進める国の動きもある。そこでDCの環境基準や防火基準が明確に定められるよう、建築基準法をはじめ関係諸法への位置付けを行うことを国に求める意見書案を市民ネットから提案し、全会一致で可決した。

＊　＊　＊

大規模事業評価制度の見直しを求める決議、2件も

つくば市では原則、10億円を超える事業は大規模事業評価委員会の評価を受けることになっている。これは、現市長が「総合運動公園問題」の反省※から取り入れた制度だ。しかしこの資材・人件費高騰の時代に果たして金額が10億円で良いのか?さらに、委員会の評価後に建築費が膨らんだ(仮称)つくば市陸上競技場を例に挙げ、委員会の評価時期を変えるべきではないか?再評価の基準が必要ではないか?という意見があり、2つの会派から決議案が提出された。この2件は細かな点で相違があるものの、おのおの賛成多数で可決された。

※総合運動公園建設を推進していた前市長が基本構想のパブコメ中に土地購入の議案を上程。1票差で購入したものの、その後住民投票が行われ、計画は白紙撤回された。

「DC事業者を呼んで市が公開説明会を実施すべき」との請願　市民ネットはなぜ割れたのか?

付託された総務文教委員会は「趣旨採択」との結論だったため、本会議では「趣旨採択」に対する賛否を採決した。(「趣旨採択」とは内容の趣旨には賛成だが、現時点ではそのままの実現は難しいと判断したときの議会の意思表示。)

趣旨採択に賛成:小森谷、あさの
請願者の不安や説明会の必要性は理解するが、適法に進められている民間事業者の事業内容について市が説明会を開催することは、制度上困難であると考え、趣旨採択に賛成した。市がすべきことは、現在策定中のガイドラインを急ぎ完成させ、それに基づく事業者との協定内容を市民へ広く説明することである。

趣旨採択に反対:川村、川田
このDCは適法に開発が進められてきたものの、事業者による説明が不十分であり、環境への影響を懸念する声が広がっている。この土地の経緯については市が改めて説明し、その説明会に事業者を呼ぶことは可能ではないか、と考え、趣旨採択に反対(=請願は原案どおり可決すべき)とした。

なお、議会では事業者自身に幅広い市民向けの説明会開催を強く求める決議を可決した。また、大規模DCに関して実態に即した法整備を国に求める意見書を市民ネットが提案し、全会一致で可決した。

どうする公立幼稚園？
――市民の声が統合案を動かす

一般質問項目

- つくば市における「強度行動障害」支援について
- つくば市における公立幼稚園の在り方と公立認定こども園への考え方について



つくば市議会議員
市民経済委員会委員長
あさの えくこ

今年2月に突然示された2027年度から15園を9園に統合する案。すでに入園が決まっていた保護者にとって「寝耳に水」の計画。一方、以前から園児減少に危機感を持っていた在園保護者が、3年保育の実現を求める署名約2500筆を提出した。

5月の市長タウンミーティングを経て、2027年度からの統合はいったん見送られたが、6月からの園ごとの意見交換会は、統合を2028年度からにスライドすることを前提としたものだった。6月議会で、保護者以外の市民への説明や、市民の意見を計画に反映する考えについて質問したが、明確な答弁は得られなかった。

その後、市民ネットでは各園の保護者と地域の状況について意見交換を行った。夏休み中には、ある園を中心に「まず3年保育の拡充を」と求める署名が行われ、1700筆余りが市に提出された。しかし9月に市が示した新たな案では、これまで明記されていなかった園も統合対象となり、さらに多くの保護者から反発が起きた。

市民の声が計画を止めた

この案についての市民向け説明会では、統合を考え直してほしいという声が相次いだ。さらに保護者の一部が「拙速な統合を立ち止まってほしい」と教育委員会に請願を提出。スケジュールどおりの統合が難しくなったことを受け、9月18日の議会全員協議会にて、市長から2028年度からの統合案をいったん止めるとの発表があった。

これからが本当のスタート

この決定は15園すべての存続が決まったということではない。3年保育のある幼稚園がよいのか、認定こども園へ移行するのがよいのか、統合が必要なのか、保育所との関係、通園方法、など、各地域がそれぞれ議論し、市と協議するスタート地点に立った、ということだと考える。

国籍や発達の違い、中途からの転園などすべての子どもに等しく開かれ、地域の保護者同士がつながれる公立幼稚園は、地域の財産。今回の「統合案をいったん止める」をゴールにせず、つくば市の幼児教育保育のあり方について、一緒に考え、形にしていきましょう。

「包括的性教育」のさらなる推進を

性を身体や生殖の仕組みだけでなく、人権や人間関係、ジェンダー、性的同意、身体の自己決定などを含めて学ぶ「包括的性教育」。自分と相手の人権を尊重しながら、自分で選択・決定できる力を育てる教育として、昨年に続いて推進を求めた。

一般質問項目

- 人権の視点からの、思春期の身体と心の悩み相談支援と、包括的性教育の推進について
- 放課後の在り方の検討について



つくば市議会議員
福祉保健委員会委員
川村 直子

はじまっている、さまざまな学び

包括的性教育の国際基準である「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」に沿って、市内の学校での取組状況を質問した。各教科や学級活動などで包括的性教育に繋がる取組を進めており、「いのちの安全教育」をはじめ、各教科で発達段階に応じた授業を行っているとの答弁。外部講師として産婦人科医、助産師、など多くの専門家が協力していると分かった。しかし体系的なカリキュラムにはまだなっていない。そこで先進例として宮崎市の実践を紹介し、各教科の内容を包括的性教育の視点から捉え直し、体系的にカリキュラムを整えていくことを提案した。

つくば市教育大綱とも一致

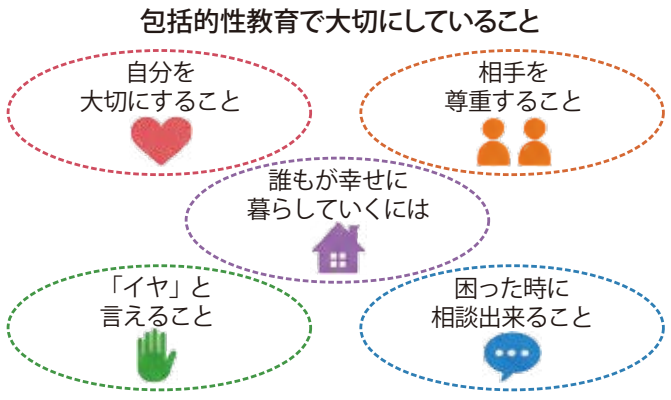
教育長からは「包括的性教育は『自分や他者の人権を尊重して、性について幅広い要素を体系的に学ぶもの』であり、つくば市教育大綱の理念とも一致する。今後、既に行っている授業内容をよく整理し、効果的な指導方法を研究し、進めていく」との考えが示された。

相談体制の周知強化

「予期しない妊娠」が原因と思われる乳児虐待死が減らない。若者の性や心の相談拠点として昨年開設した「青のカフェ」や市の保健センターで予期しない妊娠の相談も出来るが、その周知が不足している。市では「青のカフェ」を開設し1年が経つ。県の予期しない妊娠の相談窓口「いばらき妊娠・子育てほっとライン」と合わせ、相談体制の改善及び周知強化を求めた。

横の連携で、さらなる推進を

またつくば市の包括的性教育をさらに推進するため、教育分野と保健分野での取組を横に繋ぎ、学校での包括的性教育の授業に青のカフェ担当者が参加するなどの連携強化を求めた。



9月定例会議 議決結果

つくば・市民ネットワークが提案した意見書第4号「大規模データセンターに関して実態に即した法整備等を求める意見書」は、全会一致で可決しました。

議決の結果（○：賛成、×：反対） ＼ 会派名		つくば・市民ネットワーク	つくばクラブ	Next つくば	公明党つくば	緑粋会	ワニナルつくば	新・つくば民主主義の会	つくばチェンジチャレンジ	日本共産党つくば	創生クラブ
請願第4号　高エネ研南側用地データセンターの、つくば市による公開説明会の開催を求める請願	趣旨採択	○：あさの、小森谷 ×：川田、川村	○	×	○	×	○	×	×	×	○
意見書案第5号（市民ネット提案）非核三原則の堅持を求める意見書	可決	○	○ ×：五頭、退席：塩田	○	○	○	○	○	○	○	○
各会派の所属議員（敬称略） ＊は会派代表（議員数 28　議長：黒田）		＊川村、あさの 川田、小森谷	＊小久保、伊藤、小村（黒田）、神谷、五頭 木村清、塩田	＊飯岡、田代、市原 樋口、中村、木村修 塚本	＊渡辺 梅沢 篠内	＊榊原	＊青木	＊酒井	＊川久保	＊山中	＊高野

TSUKUBA ●SHIMIN NETWORK ネット

2026年10月23日 vol.90

うののぶこ県政レポート



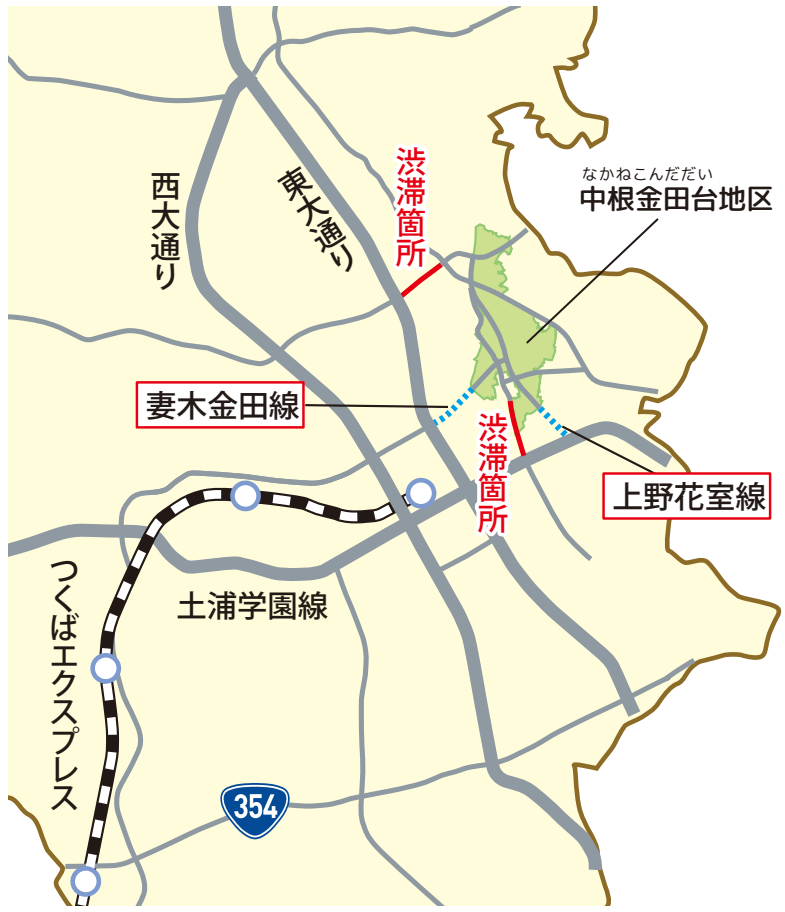
Web

中根金田台開発による周辺地域の渋滞解消は？

TX沿線開発事業は間もなく完了する見込みですが、中根金田台地区では、周辺道路の整備が遅れ、渋滞が深刻な状態です。テクノパーク桜から東大通りに出る道や、流星台から土浦学園線に出る県道は、朝夕ひどい渋滞で、その地域の住民の生活にも大きな影響を及ぼしています。

中根金田台の開発計画では、妻木地区を東西に横切って東大通りに接続する計画道路妻木金田線をつくば市が担当し、流星台から土浦学園線に接続する計画道路上野花室線を茨城県が担当することになっています。そこで、決算特別委員会で接続道路の着手状況を確認しました。

県の道路建設課は「市施工の妻木金田線と県施工の上野花室線は、両方を一体的に市と協力して進める」と答弁。しかし、つくば市が担当する妻木金田線は妻木地区の集落の真ん中を通って地域を分断し、何軒もの家が移動しなければならないため、地域の合意が見通せない状況です。そこで、県が担当し、妻木地区よりも住宅への影響が小さい、上野花室計画道路に早く着手するよう求めました。



無料

生活相談会

日々の生活で、お困りの方はいませんか？
就労相談や生活保護などの公的支援は届いていますか？ 相談会では、相談される方にマッチした解決策を一緒に探していきます。

2026年12月20日（日）
14：00～16：00
つくば・市民ネットワーク事務所
（つくば市二の宮2-1-3）
主催：生活困窮ささえあい茨城

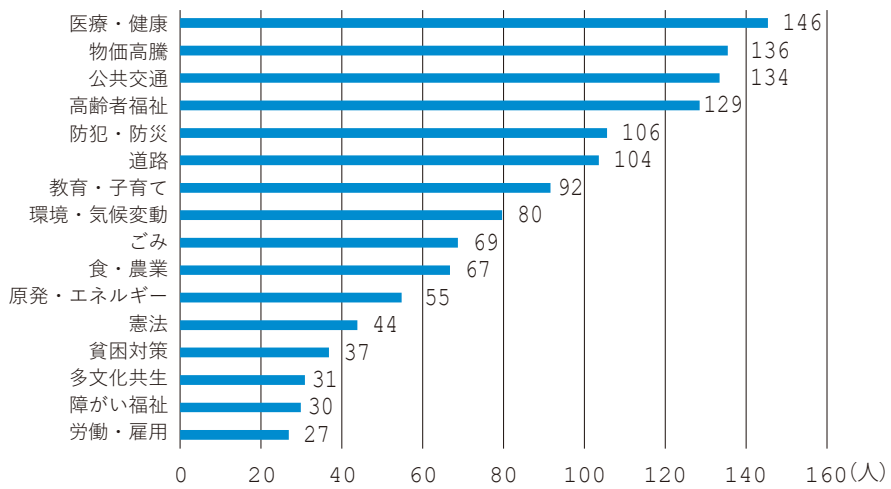


暮らしのアンケート中間報告（2026年4月～9月　回答者471人）

アンケートへのご協力ありがとうございます。
つくば・市民ネットワークでは、いただいたご意見を元に、市民の皆さんと共に解決に向けて取り組んでいます。
引き続きアンケート実施中です。→

暮らしのアンケート

暮らしの中で特に気になっている項目（複数選択）



市長へ議会から申し入れ

現在問題となっているデータセンターに関して、事業者による公開説明会開催を市から強く要請するよう、正副議長から改めて申し入れました。



まちづくりカフェ

うののぶこ県政報告会

11月14日（土）13:00～15:00
市役所コミュニティ棟 会議室２

県議会の報告を兼ね、様々な情報交換・意見交換を行います。
お気軽にお出かけください。

街頭演説会

2027年1月24日（日）14:00～
つくばセンター バスターミナル付近

つくば市議会議員 **川田青星**

つくば市議会議員 **川村直子**



つくば市議会議員 **あさのえくこ**



つくば市議会議員 **小森谷さやか**



茨城県議会議員 **うののぶこ**



茨城県議会議員選挙の日程が決まりました

つくば市選挙区：定数５人
告示：12月4日
投票：12月13日（日）